



12月26日登録状況  
2,844団  
(前年度末比 73団)  
186,450人  
(前年度末比 7,461人)

この事務局ニュースは、毎週水曜日に「日本連盟から県連盟事務局への情報提供」を主目的として発行されます。

## 今週のトピック

・1月5日(木)、上島常務理事他2人が小坂憲次文部科学大臣と面談しました(2頁参照)。

## 年頭のご挨拶



常務理事 上島真一郎

新年あけましておめでとうございます。

新春を寿ぎ謹んでお慶びを申し上げます。

日本連盟事務局から発信する「事務局ニュース」をいつもご活用いただき有難うございます。連盟の動きをお知りいただくにはこのニュースの情報量では不十分で、各種会議資料や記録類、「スカウティング」誌等をご覧いただく必要があります。しかし、近年の電子媒体を使っでの情報流通は以前とは比較にならないくらいその量、速度を上げています。

この「事務局ニュース」も、連盟の様々な動きを皆様にタイムリーに伝えていくことを旨に、今年も毎週発行していきたいと思っております。

さて、平成17年を振り返りますと、これは個人的な所感ですが、事務局各部署の専門性が向上してきたように感じます。職員が各人の専門性を高めるべく勉強・努力している跡が、提案する資料や議論の中であらうかがえ、これは「提案できる事務局」を目指す若山事務局長のリーダーシップの成果のあらわれともいえるでしょう。

一方、日本連盟の加盟員減少は依然として続いており、特にカブスカウト部門の落ち込みが顕著である点は気がかりです。理事会の下に「スカウト運動推進委員会」を設置して、様々な問題に対する答申をまとめつつありますが、この委員会でも「勇気を持って改革に取り組もう」と話し合っています。また、着手できることについてはどんどん進めていこうと、理事会と教育本部の各委員会の連携も進み、課題を分担して具体化を進める作業もそれぞれ始まっています。

昨年9月には、第37回世界スカウト会議がチュニジアで開かれ、その中で、日本も立候補しておりました2011年の世界スカウトジャンボリー開催地がスウェーデンに決まりました。当連盟にとっては残念な結果ではありましたが、会議に参加した日本のローバーたちの活躍は、未来に明るい希望を残してくれました。日本連盟もその世界戦略を一から再構築し、若い方々が世界に仲間を増やしていける環境づくりと、国際舞台で活躍できる人材の発掘と養成が急がれるところです。

本年も変わらぬご支援ご指導をよろしくお願いいたします。

## 小坂憲次文部科学大臣と面談

1月5日(木) 上島常務理事および高井・小林両事務局次長の3人が、文部科学省において小坂憲次文部科学大臣と面談しました。大臣は当時の東京第103団(現世田谷第5団)のボーイ隊において活動されました。スカウト運動へのご理解も深く、「たか章」を受章されています。「今夏の14N」にも文部科学大臣として参加したい」とも話されていました。



## スカウト運動創始100周年・ギフト・フォー・ピース関連事業

### 「ギフト・フォー・ピース - 平和を考えるワークショップ」の開催について

平和をテーマにしたワークショップをガールスカウト日本連盟と共同で下記により開催いたしますので、各県連盟内へのご案内方よろしくお願い申し上げます。

ギフト・フォー・ピース実行委員会ウェブサイトでも内容や申込書をダウンロードできますのでご参照ください。( <http://www.peace-scout.jp/> )

日時：2月12日(日) 10:00~17:00

場所：東京・国立オリンピック記念青少年総合センター

対象：ガールスカウト、ボースカウトの指導者

ただし、研修内容に関心を持つ加盟員外の方・高校生以上のスカウトも可能な限り受け付けます。お子さん連れでの参加も可能です。ワークショップ中に子どもプログラムを併設します。ただし、未就学児については保護者の同伴が必要です。

人数：成人30人、年少者15人程度

費用：成人1,000円(子どもプログラム300円)

申込：県連盟を通じて申込用紙に記入の上、日本連盟へ提出

締切：2月3日(金)

主催：ガールスカウト日本連盟 ボーイスカウト日本連盟 ギフト・フォー・ピース実行委員会

## 地域・外国連盟からの表彰について(報告)

次の3人が表彰されました。おめでとうございます。

アジア太平洋地域功労章 (APR Distinguished Service Award)

久野 桂 理事(12月28日)

タイ連盟特別功労章(First Class of Boy Scout Citation Medal, NSOT)

小栗宏次 アジア太平洋地域スカウト委員(1月9日)

小町國市 教育本部委員(1月9日)

## 平成17年度冬季海外派遣の帰国について

次の通り、第25回APRスカウトジャンボリー派遣が1月6日(金)に全員無事に帰国しました。また、第13回オーストラリアベンチャー派遣は1月15日(日)に帰国します。

### 第25回APRスカウトジャンボリー派遣

派遣期間：12月26日(月)～1月6日(金)12日間

派遣場所：タイ王国・チョンブリ県・サッタヒーブ

派遣団長：西村稔イベント委員長(石川県連盟理事長)

派遣人員：スカウト42人、指導者11人、国際サービスチーム員7人、合計60人

### 第13回オーストラリアベンチャー派遣

派遣期間：12月26日(月)～1月15日(日)21日間

派遣場所：オーストラリア・シドニー郊外・カタラクトスカウトパーク

派遣団長：高橋譲国際委員(宮城県連盟)

派遣人員：ベンチャースカウト10人、指導者3人、合計13人

## 平成18年度海外派遣募集要項について

平成17年12月22日付け全県連宛 H17-84号(国)文書でお送りした平成18年度海外派遣募集要項の記載内容に一部誤りがありましたので、お詫びのうえ次のとおり訂正いたします。

**(誤)** 提出書類のうち「海外派遣参加家庭調書・健康診断書(所定の用紙)」または「海外派遣参加健康診断調書(所定の用紙)」の記載

**(正)** 「海外派遣参加健康調査書(所定の用紙)」

なお、日本連盟ホームページへは、訂正した要項を掲載しましたのでご参照ください。

**物故者** 長年のBS運動へのご尽力に感謝し、ご冥福をお祈りいたします。

日本連盟相談役 千葉県連盟顧問

根岸 眞太郎 氏 平成17年12月18日逝去 95歳

## 指導者養成関連

### 日本連盟トレーナーの任期満了に伴う継続委嘱手続きについて

平成18年3月31日付で任期満了となる日本連盟トレーナーの継続委嘱につきまして、現在県連盟のご意見をお伺いいたしております。

この「意見書」のご提出にあたっては、継続委嘱候補者の「トレーナー任務達成目標・成果シート」を県連盟で取りまとめの上、指導者養成チーム宛に1月18日(水)までにご提出ください。

## 登録関係

### 1. 平成17年度「全国組織拡充セミナー」への参加確定通知の発信について

- \* 標記の件に関しまして、1月14日(土)～15日(日)開催されますセミナーに、本日現在で26県連盟30人のお申し込みをいただき、予定通り開催することとなりました。
- \* 各参加申込者30人には先週末自宅宛に、参加決定通知(案内)および事前資料を送付済みです。同様に所属県連盟には参加者確定の連絡文書もお送りしています。それぞれご確認いただきますようお願い申し上げます。

### 2. 12月末日の全県連盟への「平成18年度登録用データCD-R」送付完了について

- \* 昨年12月26日(月)に、47都道府県連盟への「平成18年度継続処理用の登録データ」送付(CD-Rにて)をすべて完了いたしました(一部県は11月末日に送付済み)。
- \* 到着を確認いただくとともに、先にお送りした3点(アプリケーション、登録データ、パスワード文書)の到着確認のための「受領書」を、ご返送いただきますようお願い申し上げます(現在、受領書着 = 26県連盟、受領書未着 = 21県連盟あり)。
- \* 万が一、未着がある場合は組織拡充チームまでご連絡ください。

### 3. 「平成18年度 継続登録用データ」作成後の追加登録申請内容の扱いについて

- \* 前項「2.」に関連し、平成18年度用データ反映のための追加申請締切日(=昨年12月20日以降、一部県は11月)以降に日本連盟へ到着しました「本年度追加登録申請内容」は、現在処理中ですが、当然ながら先にお送りした「平成18年度継続申請用データ」には反映できません。このご連絡以降、県連盟へ返送する本年度内「追加申請処理内容」はすべて反映されなかったデータとなります。
- \* 来年度 = 「平成18年度の継続登録申請」処理においては、このご連絡以降の追加申請内容について、各団では特別な注意と処理が必要になります。
- \* この内容に関しては、全県連盟宛H17-92号(総)1月5日付文書「本状到着以降に県連盟へ送付した日連処理済本年度登録内容の扱いについて」によって、全県連盟にご連絡しています。細部は同文書をご確認ください。
- \* また同文書に添付して、該当各団宛の「本状と一緒に到着した日連処理済本年度登録内容の扱いについて」の文書もお送りしています。
- \* この団宛文書は「年度内に追加登録処理するすべての対象団に、今後毎回同封してご返送」いたしますので、この点も十分にご認識ください。

---

## 日本連盟事務局人事について

退職 野田美路 (募金グループ) 12月31日付

---

## 日本連盟ホームページ <http://www.scout.or.jp/> アップデート

次のとおり更新しています。ご利用ください。

2005年12月28日 事務局ニュース平成17年第38号掲載

2006年1月5日 海外派遣募集要項等掲載

本日発行の事務局ニュースは、6ページです。

ボーイスカウト日本連盟ホームページアドレス <http://www.scout.or.jp/>

### <その他の情報>

#### 平成17年度「青少年自然体験活動全国フォーラム」の開催について

下記の通り開催されますので、同フォーラムの開催につきまして、貴県連盟内の指導者の方々に参加いただきたく、ご案内をお願いいたします。

主催: 独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター

趣旨: 青少年の自然体験活動の全国的普及を図るため、その関係者が一堂に会し、青少年の自然体験活動を推進していくための協議・情報交換を行う。

日時: 2月4日(土) 12:00(受付) ~ 5日(日) 15:40

会場: 同センター

申込方法: 同センター所定の申込書(センターのホームページからダウンロードできます)に必要事項を記入の上、1月23日(月)12:00までに、下記宛に郵便・FAX・電子メール(添付ファイル)でお申し込みください(電子メールの場合は、表題に「自然体験フォーラム」と記入することとなっています)。

費用: 参加費は無料ですが、宿泊を希望する場合は、宿泊費¥1,150と交通費および食事が参加者の負担となります。

備考: 詳細は、同センターのホームページをご参照ください。要項・申込書等一式がダウンロードできます。

申込先: 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター事業部事業課  
「青少年自然体験活動全国フォーラム」係 TEL03-6407-7679(直通) FAX03-6407-7699 E-mail event@nyc.go.jp  
ホームページ <http://www.nyc.go.jp/sponsored/el.html>

内容: <1日目> 1. 基調セッション 省庁連携による体験活動の施策・事例発表 -  
2. パネルセッション「連携による自然体験活動の推進をめざして」  
3. 交流セッション  
4. 情報交換会

<2日目> 1. 分科会 《事例発表・情報提供》事例ごとに会場移動可(A・B・Cのいずれか)

A会場 省庁連携による自然体験活動

B会場 悩みや問題を抱える青少年を対象とした自然体験活動

C会場 様々な自然学校

2. 分科会 (下記の6つの協議および4つのワークショップの中からいずれか1つ)

《協議》 自然体験活動とは 安全・リスクマネジメント セラピーと自然体験 食と自然体験  
ひきこもりや不登校児などを対象とした自然体験 幼児期からの自然体験

《ワークショップ》 インタープリテーション入門 アイスブレイク入門 セルフガイドシート クラブ

<期間中> 資料展示コーナー

#### 平成17年度コミュニティ・スクール推進フォーラムの開催

文部科学省では、昨年9月に創設された学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)の普及啓発を図るため、推進フォーラムを開催することとしました。

本フォーラムにおいては、コミュニティ・スクールの指定校及び推進事業実施校による実践発表や関係者による意見交換を行い、本制度の普及・啓発を図るとともに、調査研究の成果の発信、効果的な取組について協議等を行うこととしています。

趣旨: 保護者や地域住民が一定の権限と責任を持って学校運営に参画する新しい仕組みであるコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について、各地域における取組の発表、協議等を行うことにより、その円滑な導入に資する。

主催: 文部科学省

開催期日および会場: 1月31日(火) 東京会場 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホール  
東京都渋谷区代々木神園町 3-1(電話: 03-3467-7201)

2月9日(木) 名古屋会場 テレビアホール 名古屋市東区東桜 1-14-25(電話: 052-954-1165)

2月6日(月) 福岡会場 電気ビル別館 電気ホール 福岡市中央区渡辺通 2-1-82(電話: 092-781-0685)

参加申込: 文部科学省ホームページ [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/community/](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/community/) よりお願いします。

問い合わせ先: 文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課 教育制度改革室企画調査係

電話: 代表 03-5253-4111(内線 2586) 直通 03-6734-2022 FAX 03-6734-3731 E-mail [syokyo@mext.go.jp](mailto:syokyo@mext.go.jp)

## 福岡県自然体験活動指導者交流会のご案内

CONE 会員・指導者にかかわらず、自然体験活動の指導者あるいはその関係者の方であればどなたでも参加できますので、ご案内いたします。

主催: CONE 地域子ども教室推進事業運営協議会

趣旨: 地域コーディネーター研修会の実施、地域ネットワークづくりなど地域に応じた支援を行う「支援事業」に取り組んでおり、その内の1か所として福岡県への展開を考えております。自然体験を推進する上での課題や地域の教育力の向上について私たち指導者ができることなど、自由にご意見やご要望をおきかせいただきたく、交流会を企画いたしました。

対象者: 自然体験活動指導者および団体、他関係者

内容: CONE 地域ネットワークづくりについて(趣旨説明) 自然体験活動の推進にかかる課題 意見交換、情報交換など

申込み: 出席する部(昼か夜か)、名前、所属団体、(あればご質問、ご意見等)を下記宛に電話・FAX・電子メールでお知らせください。

CONE 地域子ども教室推進事業運営協議会 事務局 担当: 内村美紀

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-7-8-6F NPO 法人自然体験活動推進協議会内

電話 03-5363-2501 FAX03-5363-2502 メール: [uchimura@www.cone.ne.jp](mailto:uchimura@www.cone.ne.jp)

<昼の部> 日時: 1月24日(火) 15:00~17:00

場所: (株)電通九州 11F ホール(市営地下鉄赤坂駅より3分) 福岡市中央区赤坂 1-16-10

会費: 無料

<夜の部> 日時: 1月24日(火) 18:00~20:00(予定)

場所: おきよ食堂(昼の部の会場より徒歩12分) 福岡市中央区長浜 3-11-3 一場会館 106 電話 092-711-6303

会費: 3,000円程度(実費による会費制)

## ESD-J 全国ミーティングのご案内

2005年から「国連持続可能な開発のための教育の10年(ESDの10年)」がスタートしています。

ESD-J(NPO 法人持続可能な開発のための教育の10年推進会議)では、ESD-J 会員および ESD 関係者(行政、企業、教育関係者等)、ESD に関心のある人々が集まって、政府・地域・NPO・海外の取り組み状況を知りあい、交流する場「ESD-J 全国ミーティング」を開催します。

日時: 2月5日(日) 10:00~17:00

場所: JICA 国際総合研修所 国際会議場 東京都新宿区市ヶ谷本村町10-5 <http://www.jica.go.jp/branch/ific/map/>

主催: NPO 法人持続可能な開発のための教育の10年推進会議(ESD-J)

参加費: ESD-J 会員1,500円 非会員2,000円(ランチ交流会費含む)

定員: 150人

参加対象: ESD-J 会員、ESD 関係者(行政、企業、教育関係者等)、ESD に関心のある人々

問合せ・申込み: 参加希望の方は、下記まで、お名前、連絡先、所属先、ESD-J 会員区分(個人・団体・非会員)をお知らせください。

NPO 法人 持続可能な開発のための教育の10年推進会議(ESD-J)

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-10-15 ツインズ新宿ビル 4F (社) 日本環境教育フォーラム内

TEL: 03-3350-8580 / FAX: 03-3350-7818 e-mail: [zenkoku2005@esd-j.org](mailto:zenkoku2005@esd-j.org) URL: <http://www.esd-j.org>